

3. 保健科学課（微生物）

1) 細菌担当

平成24年度に実施した非定期業務は、保健所から依頼される食中毒・有症苦情検査および無症苦情検査並びに市民や行政から依頼される微生物検査であり、表1に細菌検査の検体数の総括を示す。

表1 検体数総括

区分	計	依頼検査	
		行政	一般
食中毒・有症苦情	486	486	
無症苦情	5	5	
その他	40	40	
計	531	531	

(1) 食中毒・有症苦情検査

平成24年度は、ウイルス検査のみのものを含め63事例、715検体について食中毒・有症苦情検査を行った。これらのうち病因物質が推定できたものは42事例、判明率は67%であった。

病因物質が推定できたものの内訳はカンピロバクター8事例、腸管出血性大腸菌4事例、黄色ブドウ球菌2事例、ノロウイルス25事例、サボウイルス3事例であった。

項目数の内訳は表2に、詳細は「Ⅷ 資料」に示す。

なお、ノロウイルス等ウイルス検査の詳細は、2) ウイルス担当に掲載。

(2) 無症苦情検査

平成24年度は、4事例、5検体について検査を行った。項目数の内訳は表3に、詳細は「Ⅷ 資料」に示す。

(3) その他

その他依頼検査の内訳を表4に示した。

表4 依頼検査の内訳

区分	検体数	検査項目（件数）
ゴーヤ	1	糞便系大腸菌群（1）
生カキ	1	一般細菌数（1） 大腸菌（1）
菌株	14	サルモネラ属菌（9） 遺伝子解析（5）
喀痰	5	レジオネラ属菌（5）
施設調査	15	レジオネラ属菌（15） 大腸菌群（1）
飲用温泉水	4	一般細菌数（4） 大腸菌群（4）
計	40	（46）

2) ウイルス担当

平成24年度に実施した非定期業務は、保健所から依頼される食中毒・集団感染および全数把握のウイルス検査である。

(1) 食中毒・集団感染のウイルス検査

平成24年度は、43事例（280検体）について、PCR法でウイルス検査を行い、30事例（93検体）からノロウイルス、2事例（9検体）からサボウイルスを検出した（表5）。

(2) 全数把握のウイルス検査

デング熱疑い9検体について、ELISA法で2検体からデングウイルス抗体を検出、1検体が判定保留であった。イムノクロマト法では、デングウイルス抗体を1検体から検出、NS1抗原を3検体から検出した。PCR法では、デングウイルスを3検体、チクングニアウイルスを1検体から検出した。

また、麻しんウイルス検査をPCR法で64検体について行ったが、いずれも麻しんウイルスは検出されなかった。一方、風しんウイルス検査では68検体中15検体から風しんウイルスを検出した。

さらに、A型肝炎ウイルス検査をPCR法で1検体について行い、A型肝炎ウイルスを検出した。

表5 食中毒・集団感染事例の月別検出状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ノロウイルス検出事例数	0	0	1	0	0	0	1	10	8	3	5	2	30
サボウイルス検出事例数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

表2 食中毒・有症苦情 検査項目内訳

検体数	検査項目数計	検査項目																									
		サルモネラ	腸炎ビブリオ	ブドウ球菌	コアグラージェ陽性	腸管出血性大腸菌	病原性大腸菌	ウエルシュ菌	セレウス菌	エルシニア	カンピロバクター	NAGビブリオ	ビブリオフルビアリス	ハイドロフィラ	エロモナス	エロモナスソブリア	シゲロイデス	プレシオモナス	一般細菌数	大腸菌群	カビ・酵母	エンテロトキシン	ブドウ球菌	セブテンブククタータ	クドア・	その他	
ヒト便・吐物	285	2254	238	211	227	50	5	211	227	205	216	214	214							235			1				
菌株	3	3					1				2																
食品(残物・参考品)	77	136	15	4	10	50		1	7		9	4	4					10	16					1		5	
ふきとり	121	357	65	21	54	14		7	38	3	53	21	21						60								
計	486	2750	318	236	291	114	6	219	272	208	280	239	239					10	311			1		1		5	

表3 無症苦情 検査項目内訳

検体数	検査項目数計	検査項目																									
		サルモネラ	腸炎ビブリオ	ブドウ球菌	コアグラージェ陽性	腸管出血性大腸菌	病原性大腸菌	ウエルシュ菌	セレウス菌	エルシニア	カンピロバクター	NAGビブリオ	ビブリオフルビアリス	ハイドロフィラ	エロモナス	エロモナスソブリア	シゲロイデス	プレシオモナス	一般細菌数	大腸菌群	カビ・酵母	エンテロトキシン	ブドウ球菌	セブテンブククタータ	クドア・	その他	
食品(残物・参考品)	5	6																3	1	1						1	
その他																											
計	5	6																3	1	1						1	

3) 感染症担当

感染症担当が平成24年度に実施した非定期検査は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）に基づく防疫検便、市民依頼の井戸水等細菌検査、ダニ等の衛生害虫検査（室内塵）および菌株等の依頼検査であり、表6に検査検体総括を示す。

表6 非定期検査検体数総括

区 分	検体数	延べ項目数
感染症法に基づく防疫検便	1,040	1,040
井戸水等細菌検査	1,506	2,671
衛生害虫（室内塵）	3	3
計	2,549	3,714

(1) 感染症法に基づく防疫検便

感染症法に基づく細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス、コレラ、腸管出血性大腸菌感染症発生に伴う防疫検便は1,040件であった。

それらの依頼別検体数を表7に、詳細を「Ⅷ 資料」に

表7 感染症法に基づく防疫検便検査依頼別検体数

区 分	計	東	博多	中央	南	城南	早良	西
細菌性赤痢	38	18	7	4	2	2	1	4
腸チフス	12	0	12	0	0	0	0	0
パラチフス	2	0	0	1	0	0	1	0
コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
EHEC	988	63	216	104	65	19	72	449
計	1040	81	235	109	67	21	74	453

表8 市民依頼の井戸水等検査件数及び不適件数

区 分	計	東	博多	中央	南	城南	早良	西	当所
井戸水	821 (125)	63 (26)	30 (4)	19 (1)	190 (19)	130 (17)	211 (30)	178 (28)	0 (0)
水道水	252 (8)	49 (1)	15 (1)	62 (1)	32 (1)	5 (0)	54 (0)	34 (4)	1 (0)
プール水	50 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	48 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
船舶水	37 (3)	24 (1)	7 (2)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
雑用水	311 (7)	12 (1)	120 (0)	142 (4)	0 (0)	7 (1)	17 (0)	13 (1)	0 (0)
その他	35 (2)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	7 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	20 (0)
計	1,506 (146)	148 (29)	177 (7)	229 (6)	277 (23)	142 (18)	284 (30)	228 (33)	21 (0)

() は不適件数

示す。

(2) 井戸水等検査

飲料水の細菌検査は、井戸水821件、水道水252件、プール水50件、船舶水37件および本年度から開始された地下水概況検査を含むその他35件であり、井戸水は一般家庭とボーリング業者からの依頼、水道水は主として「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」、プール水は「プールの安全標準指針」に基づくものである。なお、それぞれの不適件数は、井戸水125件(15.2%)、水道水8件(3.2%)、プール水1件(2.0%)、船舶水3件(8.1%)、その他2件(5.7%)であった。

また、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令」に基づく雑用水の検査は311件の依頼があり、7件(2.3%)から大腸菌が検出された(表8)。

(3) 衛生害虫検査

平成24年度の衛生害虫(室内塵)の検査依頼は3件であった。